

## 子どものスマホは「ジャイアン」？「しずかちゃん」？



先 10 月 1 日（金）近畿ブロックでスマホ研修がありました。記者も参加。分かりやすい解説と私たちの対応が説明されました。参加者からも大変好評で題して（講師の先生は最後のページに紹介しています。）

### 「スマホ時代を生きる子どものために ～被害者にも加害者にもしない～」です

まず、スマホいじめはジャイアン型？



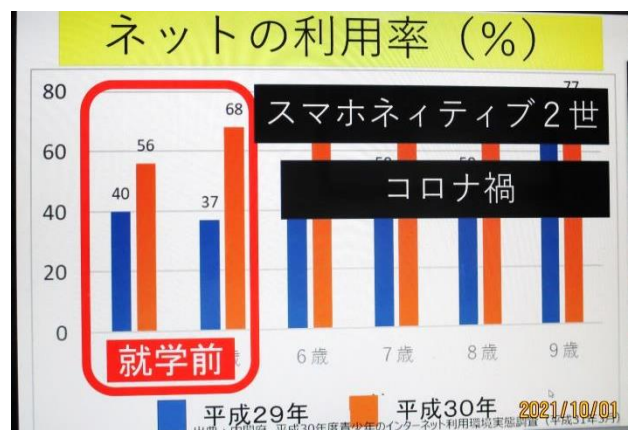
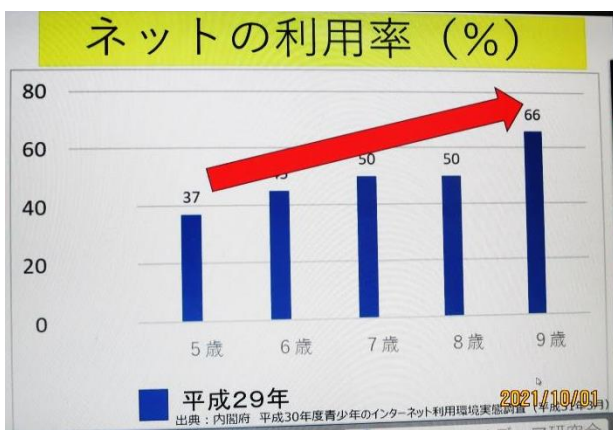
いじめはジャイアンに決まってるでしょ。  
しずかちゃんは心優しい女の子だから

ここでまず、私たちの世代は当然「ジャイアン」となるのですが、最近は「しずかちゃん」型が多いということです。悪いことは言わない、みんなとあわせている、そして女の子 ということです。（女の子の方が重大ないじめが多いことはニュースでも分かりますよね。もちろん男の子もあります）つまり スマホのいじめは

いじめたりいじめられたり 攻守所を変えていつでも起こること SNS（ライン、ツイッターなど）を使ったいじめが多いんだよ。家で勉強中もスマホを離さない子どもがいるでしょ。ラインが来てすぐに返事をしないと、「無視した」といじめの対象になったり、みんなから変な目で見られるだけでなく、次の日学校に行っても友達から無視されたり、辛い思いをします。それが怖くて、スマホを放せないのですよね。

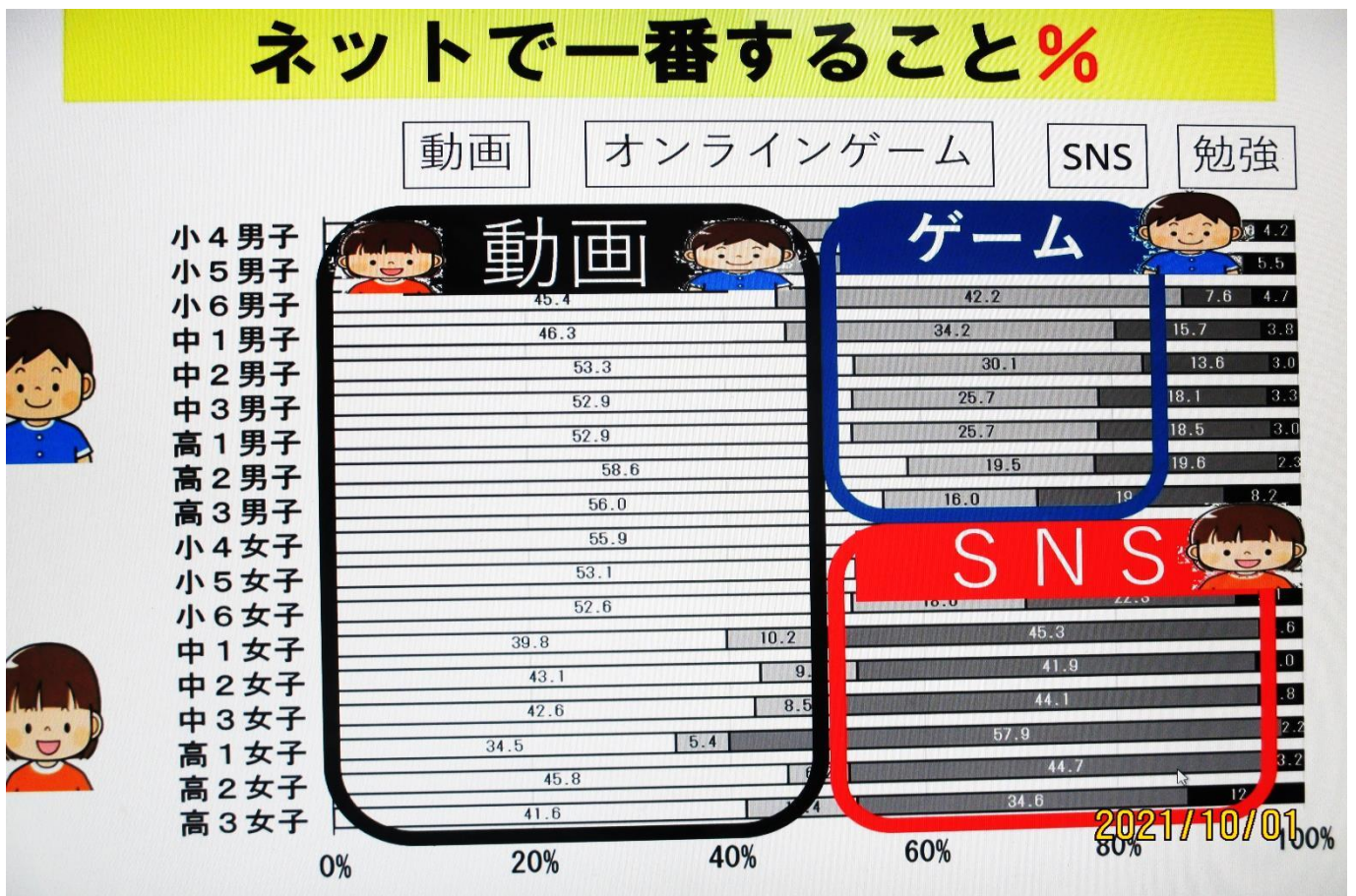
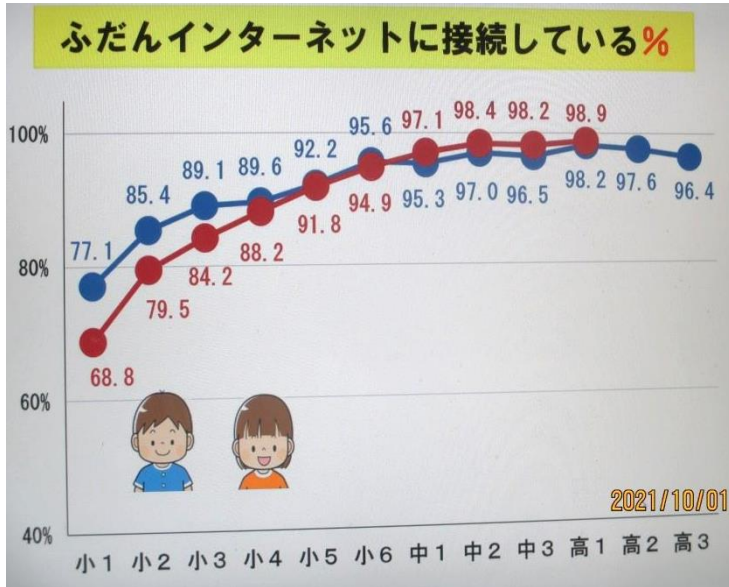


#### ① 近年ネットは何歳ごろから使い始めるか



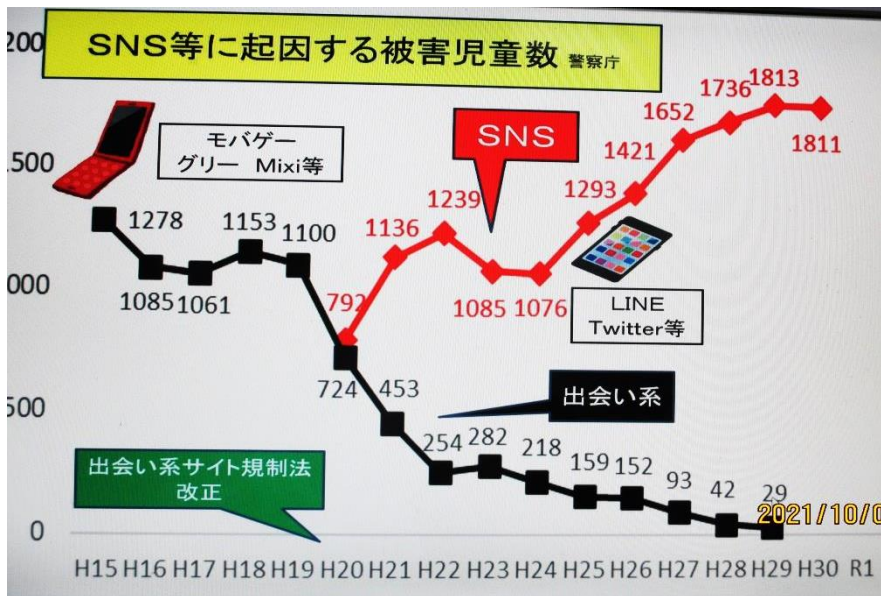
平成 29 年では 4 歳ごろから使い始める割合は 50%未満でしたが、30 年になると就学前には 60%近くの子どもがネットを始めだします。これはネットを used した世代の子どもたちが同様に小さいころからネットを使い始めることから「スマホネイティブ 2 世」と言っています。スマホをもってネットにつないでいるわけです。街でもよく見る光景ですね。

② それではどれくらい使っているのか？何を見たり、しているのか？



この 3 枚の図からほぼ全子ども達がネットを使っていること。動画を中心にしてはいるが、女の子は小 4 ぐらいから SNS に入っていること、また男子は高 3 からは学習のために使っているが、女子はその割合が小さい。女子の SNS への傾斜が強いことは注意です。





左図のように SNS の被害はかなり増加しています。

出会い系サイトは減少していますがそれは規制法ができたためでしょう。なお今では「出会い系サイト」とは言わず、「マッチングサイト」と呼んでいます。



これから情報化社会  
**「使うな」は限界**  
**正しく怖がり、賢く使う**

③ これからはスマホやネットを使うなということは限界で、「正しく怖がり、賢く使う」

- いじめっ子の変化
- ① ジャイアン
  - ② スネ夫 頭がない
  - ③ できすぎ 人望がない
  - ④ のび太 両方ない

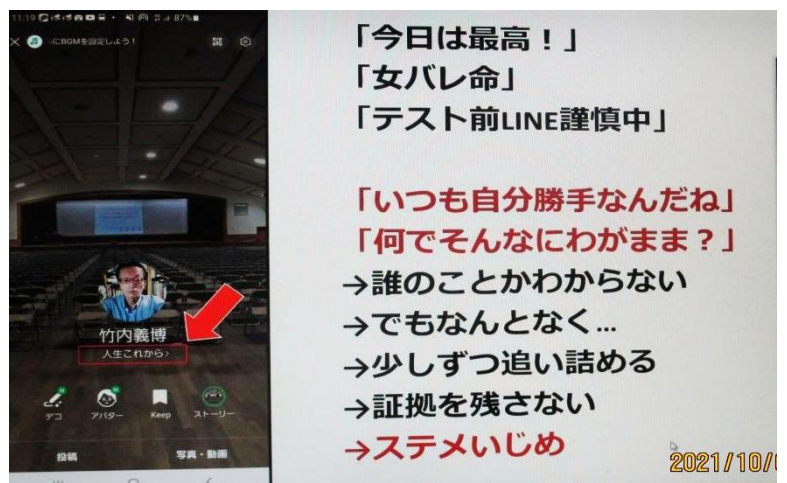
ジャイアンはいじめるイメージのキャラですが、今は、しずかちゃんのような子どもがラインを駆使していじめを誘発させています。

左の図では、意地の悪いスネ夫君、頭がいいできすぎ君、だらしない？のび太君達の評価です。

私たちの時代はいじめっ子ははっきりしていました。しかし しずかちゃん と言われると迷います。

いじめっ子の変化

しずかちゃんのような子が  
LINEを駆使して...



上のスマホ右画面の意味はわかりますか？

ある子にこんなメールが届きました（特に上3かっこ）。この子はテスト前。でも遠慮なく批判しています（自分勝手とかわがまま とか一少しずつ追い詰める）そして誰が投稿したのかグループ内では分かりません（**証拠を残さない。**（矢印））そして翌日から無視といういじめが始まります。

**いじめは変わっています**

大人 **ジャイアン対策**  
 ↑ **だからうまくいかない**  
 子供 **しずかちゃん暗躍**

**実態を知る必要**  
 2021/10/01

いじめられている子は親や先生には相談しません。親は左図のように「ジャイアン対策」でダイレクトにメールを書いた子に抗議しますが、グループ全体が同調しているか、直接いじめの証拠を残さないため、空講義になるか、後日余計にいじめが加速されるようなことにもなりかねません。

**先生、親に絶対言わない**  
 →大人は「暴走する」  
 →相手の家に怒鳴り込み  
 →終わりの会、学年集会  
 2021/10/01

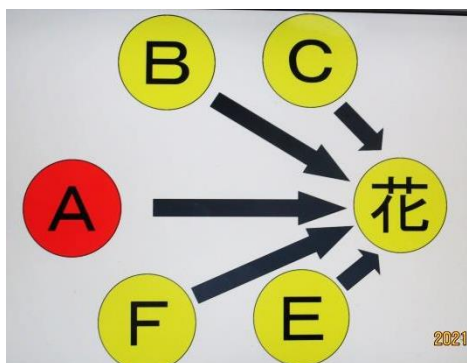
同様に先生では、「終わりの会」や「全校集会」などで陰に陽に言われてしまいます。ですからまたいじめがプラスされることにもなります。

ではだれに相談するか、1番は友達 ということになります。私たちが関与する前には実態をよく知っていないてはならないということです。

④ 《ある話 いじめが発生》

6年5組のあるグループです。花子さんがA子さんから、熊のぬいぐるみをもらいました。その日のラインです。

「このぬいぐるみ、かわいくない」で、翌日・・・・・・・・・・。



つまり、A子さんを核にして全員花子さんを無視するに及びました。グループ内でA子さんに同調することには大変勇気のいることとなります。同調圧力（自分もやられるかもしれないという気持ちになる）がかかってきています。こうなると花子さんはたいへん精神的に追い詰められてしまいます。長く続いたり、集中的に言葉でもいじめられれば、最後には想像できない結果もあるかもしれません。

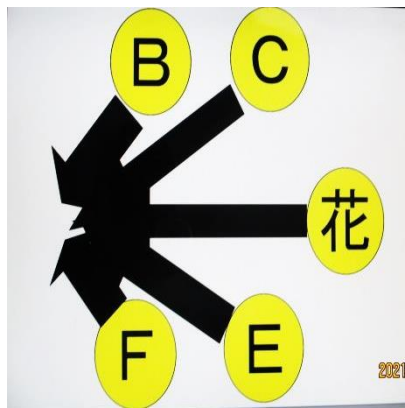
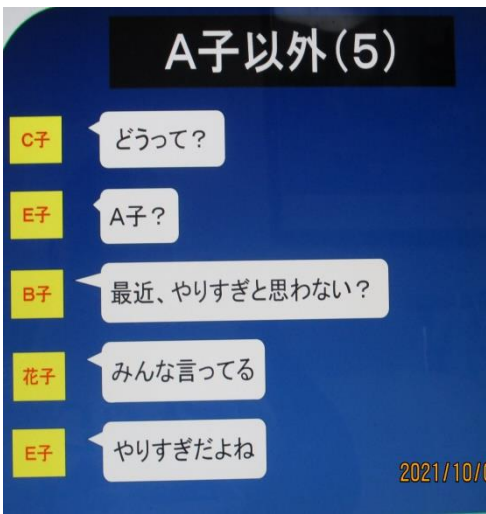
この、何気ないメールを見て、皆さんは不思議に思うことでしょう。





なぜ、これがいじめの発端になるのかと？それは「このぬいぐるみ、かわいくない」と読んだからでしょう。「…かわいくない？」とすればこんなことは起こらなくて済んだのでしょ。こんな間違いを誰も気づかないはずはないのでは と考えたいのですが、子どもの世界はわからないところです。

⑤ **革命** 話はまだ続きます。



A 子さんがグループの中心だったのですが、B 子さんがこんなメールを A 子さん以外のグループ員に流しました。これで見ると、一番批判的な言葉を話している B 子。他の 5 人は同調。こうして B 子さんの勝利。

今度は A 子さんが花子さんと同じようなことをグループからされることになりました。最初とは攻守所が変わっています。それを「**革命**」と言っています。子どもたちはこんな状況に日夜おかれているのかもしれませんが、それならスマホを辞めたら と思うところですが、またそれも「無視した」とされてしまうようで、なかなか手放せません。

こんな状況に陥ってしまわないためには、誰か「**仲裁役**」が必要です。「このクマかわいくない」には「ホントかわいいよね」とか「終わりに？がつくんじゃない」とか「私はかわいいと思うけどな」と話す仲間がいれば、こんなことにはならなかったのでしょうか、また革命と言われる事態もなかったかもしれません。子どもたちにも会話を否定的に解釈しないような習慣をつけさせたいです。

⑥ **スマホ依存**

スマホ依存に対して、「スクリーニングテスト」があります。アメリカのキンバリーヤング先生（心理学者）が開発したテストで、「インターネット依存調査」として日本では、厚生労働省の研究

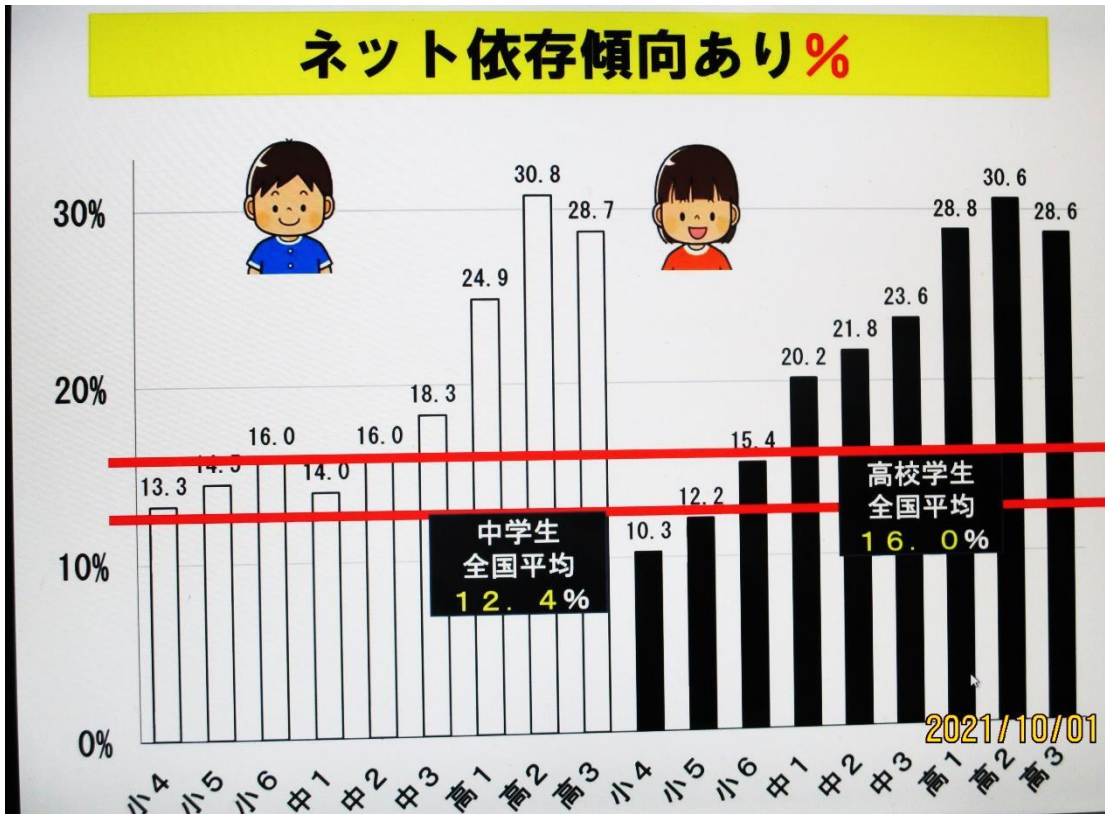
**ネット依存？**

- ① **ネットに夢中とを感じる**
- ② **使用時間をもっと長時間したいと思うことが**
- ③ **中止を試みてうまくいかないことがたびたび**
- ④ **時間を短くしようとするときイライラする**
- ⑤ **考えていたより長く続けてしまう**
- ⑥ **ネットで人間関係を台無しにしたことがある**
- ⑦ **熱中を隠すため家族や先生に嘘をついたことがある**
- ⑧ **絶望、不安から逃げるためにネットを使う**

2021/10/01

班が全国の中高生を対象に調査しました。その調査項目は上図の 8 項目。そのうちの **5 項目 8 分の 5** に該当すると「ネット依存症」と診断されます。これは子どもたちのゲームも対象です。

## ネット依存傾向あり%



この図は神戸大学の曾良教授が調査したところ「子どもたちのネット依存傾向」は、図のようになりました。10人に1～2人が当てはまります。中学校では1学級35～40人としても3～4人が「依存症」になっているのです。高校生は30%ですから、同様

に10～12人とかなりの子どもたちが依存症になっているのです。

### ⑦ ゲーム依存症になると

## ゲーム障害

- ① 日常生活より**ゲーム優先**
  - ② **健康**に良くない影響
  - ③ **友達や勉強**にも良くない影響
  - ④ **1年以上** (ひどい場合はもっと短期間も)
- 2021/10/01

### ⑧ 対策予防は

図のようなことの他に大切なのは、購入時に約束事を、決めること。また約束があまくなったりした時には、きっかけを作って(例 夏休みや正月休みなどの機会)再度約束を守るよう お互いに相談することも提案されています。

子どもにとっては親は右図のように感じています。冷静に対応したいです。

図のようなことが知られています。その他「集中が続かない」「イライラする」「キレやすい」「社会的なつながりに弱い」などがあります。

## 対策予防

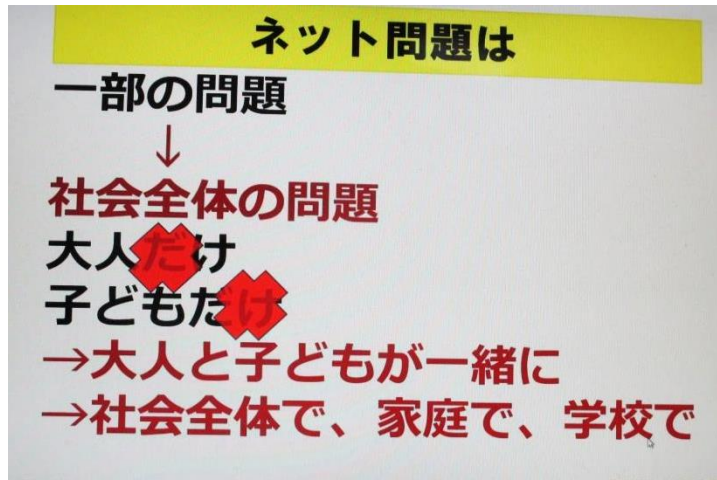
- ネット**利用時間**を設定
- 利用時間の**記録**
- 食事や入浴をして、**生活リズム**を整える
- ネット・ゲーム以外の**趣味**を作る

## 先生、親に話さない理由？

- 「だってどうせ**知らない**し……」
- 「だって**暴走**するもん……」
- 「だって**聴いて**くれない」
- 「だって自分の**言いたいこと**だけ言う」
- 「だって**声**が大きいからしんどい」



## ⑨ ネット問題は社会全体の問題



おとなと子どもがともに話し合い、問題を共有しながら解決していかなければならないのです。

なお

2019年5月WHOは「ゲーム

障害」を病気として認定。日本でも保険適用になります。

現在依存症の専門病院は、神戸大学と神奈川の久里浜医療センターになります。その他ネットで調べてください（増えています）。

また、ネットで被害にあったりした場合は  
右図まで連絡してください。

**「知ってる人」になるために**

**犯罪被害 #9110**

→各都県警察

**お金 188**

→最寄りの消費生活センター

今回の講師の先生は



最後に

**竹内 義博氏**

(ソーシャルメディア研究会 指導員)  
の先生でした。

スマホの問題は

- × デジタルで難しい
- 大切なのは、心

・スマホの問題は、

**心**

の問題

のフリップを残されました。子どもたちと心を通わせあうのが一番  
ということでした。